

授業科目	地域観光資源開発論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO31506J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-2			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	<p>本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。具体的には、第1回から第9回までは地域資源の活用や観光資源開発など、これまで全国でおこなわれてきた取り組みについて学び、これらを参考に第10回からは学生自身が特定の地域に焦点を当て、新しい観光資源を立案・発表する。</p> <p>なお、本授業は一部、アクティブラーニングを取り入れる予定であるが、昨今の新型コロナウイルスの影響により授業内容を変更することもある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 地域資源の観光資源への活用について学ぶ。</p> <p>2. 地域の特徴を活かした観光資源のありかたについて考える。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	60	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	5			15	
思考・判断 (DP2-2)			5	10			15	
関心・意欲 (DP3-1)			5	20			25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10	5			15	
態度(DP4-2)			5	10			15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			5	10			15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
地域の課題を発見し、観光資源の開発について具体的な案を示すことができる。				地域資源の観光資源化への取り組みについて理解できるようになる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・授業ガイダンス			講義		該当部分の復習		60分

2	地域観光資源の意義と活用	講義	該当部分の復習	60分
3	地域観光資源開発の主体、DMO とは何か	講義	該当部分の復習	60分
4	事例研究1(モノの消費)	講義	該当部分の復習	60分
5	事例研究2(コトの消費)	講義	該当部分の復習	60分
6	事例研究3 (TDR【東京ディズニーリゾート】の経営戦略)	講義	該当部分の復習	60分
7	事例研究4(時空間のプロデュース、物語化)	講義	該当部分の復習	60分
8	事例研究5(情報発信、イメージの形成)	講義	該当部分の復習	60分
9	事例研究6(地域ブランド)	講義	該当部分の復習	60分
10	研究発表会1(Aグループ)	発表	該当部分の復習	60分
11	研究発表会2(Bグループ)	発表	該当部分の復習	60分
12	研究発表会3(Cグループ)	発表	該当部分の復習	60分
13	研究発表会4(Dグループ)	発表	該当部分の復習	60分
14	研究発表会5(Eグループ)	発表	該当部分の復習	60分
15	研究発表会6(Fグループ)	発表	該当部分の復習	60分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>1. マーケティングの知識が必要であるが、授業においても一部触れる。</p> <p>2. さまざまな地域の特徴を理解する地理的素養が求められる。</p>			
テキスト	第1回の授業で指示する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	大社充『体験交流型ツーリズムの手法 ―地域資源を活かす着地型観光―』学芸出版社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から地域活性化に関する新聞記事やニュースに関心を持つように心がけてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	意外なものが地域の観光資源となることがあります。皆さんの発想で新しい観光資源を開発してみましょう。			

